



加 監 発 第 5 6 号  
令 和 8 年 3 月 1 8 日

加 須 市 長 角 田 守 良 様  
加 須 市 議 会 議 長 竹 内 政 雄 様  
加 須 市 教 育 委 員 会 教 育 長 小 野 田 誠 様

加 須 市 監 査 委 員 秋 本 政 信

加 須 市 監 査 委 員 田 中 良 夫

令 和 7 年 度 定 期 監 査 の 結 果 ( 学 校 監 査 ) に つ い て ( 報 告 )

地 方 自 治 法 第 1 9 9 条 第 4 項 の 規 定 に 基 づ き 、 及 び 加 須 市 監 査 基 準 に 準 拠 し 、 定 期 監 査 を 執 行 し た の で 、 同 条 第 9 項 の 規 定 に よ り 、 そ の 結 果 を 別 添 の と お り 報 告 し ま す 。

# 令和7年度学校定期監査結果報告書

## 第1 加須市監査基準に準拠している旨

監査委員は、加須市監査基準（令和2年加須市監査委員告示第4号）に準拠して監査を行った。

## 第2 監査の種類

地方自治法第199条第4項の規定に基づく定期監査

## 第3 監査の対象学校

- (1) 田ヶ谷小学校
- (2) 水深小学校
- (3) 原道小学校
- (4) 北川辺東小学校
- (5) 大桑小学校
- (6) 元和小学校
- (7) 昭和中学校
- (8) 北川辺中学校

## 第4 監査の着眼点（評価項目）

市立の小学校及び中学校の事務に関して関係法令が遵守されているか、また、備品の管理やその他校長の権限に係る財務等に関する学校事務の執行が、適正かつ効率的に行われているかに主眼を置き、監査を実施した。

## 第5 監査の期間

令和8年1月14日～令和8年3月18日

## 第6 監査の実施内容

令和7年度（1学期及び2学期）の学校経営状況や主要業務等に関する事務の執行状況等について、必要な資料及び関係書類の提出を求めた後、監査委員が各学校を訪問し、関係職員からの説明を聴取するとともに、学校施設の現況を確認した。

## 第7 監査の結果

学校経営状況や財務等に関する学校事務の執行については、おおむね適正かつ効率的に運営されていることを確認した。

なお、本監査における学校の状況及び主な意見は、次のとおりである。

## 1 総括的事項

学校経営に係る事業の管理については、各学校とも、加須市人づくり宣言をはじめ、加須市人づくりプラン等を念頭に、学校規模、校風や児童・生徒、地域の実情等を把握した上で目指すべき学校像を定め、それらの実現に向けて、各種取組事項を掲げた学校グランドデザインを明確に定めていた。

その経営・運営に当たっては、校長のリーダーシップのもと、教職員間の情報の共有化が図られており、また、保護者や学校評議員をはじめ、連携している地域の方々に対しても、共通理解を図りながら行われていた。

なお、全体の学校経営・運営状況及び個別的事項は、次のとおりである。

## 2 学校経営・運営状況について

### (1) 組織について

校長・教頭を中心とした教職員の役割分担が明確に定められ、それに基づいた業務が行われており、責任体制も確立されている。

また、日ごろから教職員間の情報の共有化が図られるなど、組織体制の強化に取り組まれている。

### (2) 教職員の勤務時間について

教職員の平均在校時間について、中学校では部活動の朝練習を廃止するなどにより、以前に比べると在校時間は減少傾向になっているが、年度当初は、新年度の準備作業等のため、特に主幹教諭や教頭の在校時間が長くなる傾向が、引き続き見受けられた。

全ての学校で、パソコンを利用した教職員の在校時間管理を行っていた。今後も適切に在校時間の管理を行うとともに、教職員の長時間勤務の改善に向け、取り組まれない。

また、教育委員会も、各学校から提出された勤務状況の資料等を活用し、市内全体の勤務時間の傾向等の情報提供を行いながら、超過勤務の削減に向けた各学校への指導を行うなど、働き方改革の推進に努められたい。

### (3) 長期欠席・いじめ認知件数について

児童・生徒の長期欠席等の状況について、コロナ禍以前と比較して一部で増加傾向がみられた。一部の家庭では、積極的に学校に送り出さない状況もあるとのことであった。

長期的な対応が必要となるが、家庭との信頼関係の構築及び家庭教育に努め、児童・生徒の学校への復帰についての取組みを進められたい。

また、いじめ認知件数については、各学校により差異はあるが、いずれも解消に向け、対応済みであった。

今後はSNS等によるいじめも増加してくると思われることから、いじめの傾向の把握に努め、早期発見・早期解決に向けて取り組まれない。

#### (4) G I G Aスクールの運用状況について

令和3年度から本格稼働し、5年度目となったこともあり、教職員全体の技能が向上してきていることが伺えたが、教科や教員により、利用状況に多少の差はあるとのことであった。

また、多くの学校でタブレット端末の持ち帰りを実施し、家庭学習や宿題等に活用するとともに、各種アンケートをタブレット端末等で行うことで、集計等が効率的に行われ、業務改善に繋がっているとの話も聞くことができた。

なお、画面の小さなタブレット端末を利用した授業の増加、家庭でのゲーム機やスマートフォン等の使用時間の増加などもあるため、学期ごとに視力検査を行うなど、児童・生徒の視力の低下について、注視していただきたい。

#### (5) 学力の現状と向上対策について

埼玉県学力・学習状況調査の結果を見ると、改善傾向にあるとは思われるが、依然として県平均に比べ、全体的に低い傾向がみられる。特に中学校の英語については、その傾向が強いことから、学校での指導内容を見直すなど、さらに指導を強化されたい。

また、家庭学習を通して、苦手な分野について繰り返し学習を行うなど、基礎学力の向上に努められたい。

#### (6) 地域との連携について

学校応援団活動では、下校の見守りなど児童・生徒の安全を確保する取組については、引き続き全学校で行われていたほか、体験授業等についても実施をしていた。

なお、今のところ活動に大きな支障はないようだが、学校応援団等の高齢化等に伴い、登録人数が減少している学校も見られたことから、新たな人材の確保が望まれるところである。

また、学校応援団の方に、感謝の会等を開催している学校もあったが、是非、校長先生から感謝状を贈呈し、日頃の感謝の気持ちを伝えていただきたい。

※学校応援団：学校における学習活動、安心・安全確保、環境整備などについてボランティアとして協力・支援を行う保護者・地域住民による活動組織のことで、平成17年度から埼玉県教育委員会が取り組み始め、平成28年度には埼玉県内全ての小・中学校で学校応援団が設置されている。

#### (7) 災害時の対応及び防災対策について

各学校とも災害別の危機管理マニュアルを整備し、様々な災害や不審者を想定した避難訓練が実施されている。今後も、災害時等に児童・生徒の命を守るためにも、継続的に工夫のある取組を実践されたい。

#### (8) 予算執行状況（歳出）について

配当された学校管理費については、計画どおり執行されていた。

(9) その他学校経営において参考となる事項について

・スクール・サポート・スタッフについて

各学校にスクール・サポート・スタッフが配属されたことで、教職員の業務負担軽減に繋がり、時間外勤務が減少しているとのことであった。

※スクール・サポート・スタッフ：学習プリント準備や採点準備、来客や電話対応、環境整備など、教員が長時間労働を迫られる一因とされる業務をサポートし、教員がより児童生徒への指導や教材研究に注力できるようにするための職員

・樹木の剪定について

ほとんどの学校において、樹木の剪定費が不足しているとの話が聞かれた。

低木については、学校応援団の協力や、教職員が対応をしている学校も見られたが、管理の必要な樹木（特に高木）の多い学校では苦慮していた。

また、高木の管理については、教育委員会で一括管理を行うこと等も含め、学校と教育委員会でよく確認・協議をし、適切な維持管理に努められたい。

3 各学校の個別的事項について

**田ヶ谷小学校**

(1) 学校概要等

- ・児童数は、R8年1月1日現在130人(学級数6学級+特別支援学級数3学級)となっている。

(2) 長期欠席及びいじめ認知件数について（2学期末の状況）

- ・長期欠席者は0人。
- ・いじめ認知件数は2件となっているが、生徒指導主任及び管理職、学年担当を中心に連携を図りながら未然防止及び早期発見、早期解決に向け、全教職員で組織的に対応を行っている。

(3) GIGAスクールの運用状況について

- ・活用率は高く、ICTを利用したことで、効果的な学習であることが多い。
- ・家庭では、個々に応じた学習ができるが、自宅での使用については、管理が難しい。

(4) 学力の向上対策等について

- ・テストの解き直しを必ずさせることで、基礎や基本の定着を図っている。
- ・習熟度別の工夫を図った授業を行っている。

(5) 外国籍の児童・生徒への支援について

- ・外国籍の児童 3人（国籍：パキスタン）
- ・日本語指導員による指導（週1回）を行っている。当初は、3人とも全く日本語を話すことができなかったが、現在は、日常会話程度は理解している。

(6) 地域との連携について

- ・学校応援団の登下校時の見守りに加え、樹木の剪定、除草、体験活動のサポート等で協力が得られている。
- ・学校応援団の高齢化が進んでいるため、今後の人材確保が課題とのことであった。

(7) 災害時等の対応について

- ・避難訓練（火災、引き渡し、地震、不審者）を実施し、教職員、児童、保護者の意識の向上や避難行動の徹底を図っていた。

(8) 予算執行状況について

- ・配当された予算については、計画的に執行されている。

(9) 令和8年度の運動会開催日時について

- ・案1：10月31日（土） 案2：10月10日（土） 案3：10月11日（日）  
児童数が130名となり、5、6年児童だけでは運営が困難になってきているため、地域の運動会との合同開催を検討している。

**水深小学校**

(1) 学校概要等

- ・児童数は、R8年1月1日現在644人（学級数20学級+特別支援学級数7学級）となっている。令和10年度が児童数のピークである。

(2) 長期欠席及びいじめ認知件数について（2学期末の状況）

- ・長期欠席者は18人。担任が電話連絡や家庭訪問等を行い、学校との繋がりを切らないように対応をしている。
- ・いじめ認知件数は0件であった。

(3) GIGAスクールの運用状況について

- ・令和6、7年度の2年間、加須市教育委員会よりITC活用推進校の委嘱を受け、実践的な取り組みを推進している。

(4) 学力の向上対策等について

- ・本校の学力の現状について、教員が共通理解を図り、授業研究会を機に指導方法の改善に取り組んでいる。

(5) 外国籍の児童・生徒への支援について

- ・外国籍の児童9人のうち3人（国籍：中国1人、フランス1人、フィリピン1人）が、日本語指導員による指導（週1回）を受けている。

(6) 地域との連携について

- ・学校応援団の登下校の見守り、読み聞かせ、学習支援の活動などにより、地域との連携を深めている。

(7) 災害時等の対応について

- ・避難訓練（火災、引き渡し、地震、不審者）を実施し、教職員、児童、保護者の意識の向上を図った。
- ・酷暑対応では、校庭等にWBGT計測器を設置し、熱中症対策を行った。

(8) 予算執行状況について

- ・配当された予算については、計画的に執行されている。

(9) 令和8年度の運動会開催日時について

- ・10月31日（土）実施予定

**原道小学校**

(1) 学校概要等

- ・児童数は、R8年1月1日現在91人（学級数6学級+特別支援学級数2学級）となっている。

(2) 長期欠席及びいじめ認知件数について（2学期末の状況）

- ・長期欠席者は10人。欠席児童がいた場合には、その日のうちに担任教諭が、連絡している。なお、欠席日数が3日続いた場合は、家庭訪問等を行い、保護者とのつながりを切らないように努めている。
- ・いじめ認知件数は0件である。

(3) GIGAスクールの運用状況について

- ・若い教員が多いため、活用率は高く、児童に合わせて効果的に活用できている。また、ただ活用するだけでなく、児童の理解を促すよう効果的に活用している。

(4) 学力の向上対策等について

- ・ドリルパークや学習プリント等の活用により、基礎的かつ基本的な学力が身につけてきた。

(5) 外国籍の児童・生徒への支援について

- ・外国籍の児童 0人

(6) 地域との連携について

- ・学校応援団の協力で、登下校の見守り、米作り、大麦作り等を実施し、地域の方との触れあいを通し、子どもたちのコミュニケーション能力の育成を図っている。

(7) 災害時等の対応について

- ・避難訓練では、水害を想定した訓練を実施した。
- ・状況に応じて、自主的に避難等の対応ができる児童が増えてきた。
- ・体育館と校庭に熱中症計を常備し、熱中症対策を行った。

(8) 予算執行状況について

- ・配当された予算については、計画的に執行されている。

(9) 令和8年度の運動会開催日時について

- ・10月24日(土)実施予定(予備日10月28日(水))

**北川辺東小学校**

(1) 学校概要等

- ・児童数は、R8年1月1日現在146人(学級数6学級+特別支援学級数2学級)となっている。

(2) 長期欠席及びいじめ認知件数について(2学期末の状況)

- ・長期欠席者は6人。定期的な家庭訪問により、本人、保護者と顔を見合わせたコミュニケーションを図っている。
- ・いじめ認知件数は1件。管理職を中心に、連携を図りながら解決に向け取り組んでいる。

(3) GIGAスクールの運用状況について

- ・一人一台端末が整備されて以降、これまで実践を積み重ねてきたので、日常的な活用ができています。

(4) 学力の向上対策等について

- ・学力向上と授業改善のため、指導者を招き、授業研究会を実施している。

(5) 外国籍の児童・生徒への支援について

- ・外国籍の児童9人（国籍：ペルー1人、ベトナム3人、スリランカ2人、中国2人、フィリピン1人）のうち、6人が週1回、日本語指導を受けている。

(6) 地域との連携について

- ・学校応援団(おやじの会)の協力で、5年生が田植えと稲刈り体験を実施し、社会科の授業だけではなく、地域の特産品や食に対する意識を高めることができた。
- ・猛暑や酷暑の日が増えてきているため、夏の作業対策が必要になってきた

(7) 災害時等の対応について

- ・地震や火災時の避難経路の確認、緊急地震速報時の避難訓練、水害による引き渡し訓練、加須警察署と連携した不審者対応避難訓練等を実施し、児童の災害等に対する意識を高める指導が行われていた。

(8) 予算執行状況について

- ・配当された予算については、計画的に執行されている。

(9) 令和8年度の運動会開催日時について

- ・5月30日（土）実施予定

**大桑小学校**

(1) 学校概要等

- ・児童数は、R8年1月1日現在470人(学級数15学級+特別支援学級数4学級)となっている。現在は、児童数のピークが過ぎ減少している。

(2) 長期欠席及びいじめ認知件数について（2学期末の状況）

- ・長期欠席者は24人。経験年数の浅い教員が多いため、生徒指導上の課題の解決には、組織的に対応している。
- ・いじめ認知件数は5件となっているが、R7に認知したものは、12月末時点で、すべて解消している。

(3) GIGAスクールの運用状況について

- ・ICTを積極的に活用している教職員が多い。
- ・保護者へのお知らせ等は、原則、電子データにて配信している。

(4) 学力の向上対策等について

- ・各種学力調査の結果を活用した研修等を通して、本校の課題を明確にしている。
- ・全学年で研究授業を行っている。この授業では、主に「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を通して、児童が主体的に学習に取り組むことができている。

(5) 外国籍の児童・生徒への支援について

- ・外国籍の児童7人（国籍：中国2人、ベトナム、ブラジル、ネパール、パキスタン、タイが各1人）は、日本語を理解できているため、学校での学習や生活に支障はない。また、宗教上の理由等により、配慮を要する場合は、保護者と合意形成を図り、個別に対応している。

(6) 地域との連携について

- ・登下校時の見守りや授業支援等で、学校応援団をはじめとする、保護者や地域の方の協力を得ている。

(7) 災害時等の対応について

- ・引き渡し、総合水害広域避難、避難訓練（地震、火災）を実施し、児童の災害等に対する意識を高める指導が行われていた。
- ・酷暑により、全校集会等をオンラインで実施した。また、校庭や体育館での活動については、教室での活動に変更した。

(8) 予算執行状況について

- ・配当された予算については、計画的に執行されている。

(9) 令和8年度の運動会開催日時について

- ・10月3日（土）実施予定

**元和小学校**

(1) 学校概要等

- ・児童数は、R8年1月1日現在321人（学級数13学級＋特別支援学級数2学級）となっている。

(2) 長期欠席及びいじめ認知件数について（2学期末の状況）

- ・長期欠席者は14人。定期的な電話連絡や家庭訪問、スクールカウンセラーとの面談（保護者、本人）を実施し、児童や保護者とコミュニケーションを図り、学校との関係を切らないようにしている。

- ・ いじめ認知件数は0件である。引き続き、未然防止や早期発見、早期対応に取り組んでいく。

### (3) GIGAスクールの運用状況について

- ・ 日常的に一人一台端末を活用する雰囲気が醸成されている。
- ・ ICTサポーターが月2回来校し、教職員の相談に乗ったり、より良い活用方法について、提案したりしている。

### (4) 学力の向上対策等について

- ・ 各種学力調査の結果を活用した研修を通して、児童の状況を分析し、指導に生かしている。
- ・ 授業改善のため、外部指導者を招き、授業研究会を実施している。
- ・ 特に国語においては、単元のゴールを明確にし、児童の学ぶ意欲を高める工夫を行っている。

### (5) 外国籍の児童・生徒への支援について

- ・ 外国籍の児童5人(国籍：パキスタン3人、中国1人、フィリピン1人)のうち、4人が日本語指導を受けている。日常生活では、日本語を理解し、コミュニケーションを図ることのできる児童が多い。

### (6) 地域との連携について

- ・ 学校応援団の登下校時の見守りに加え、稲作体験や校外学習の見守り等で、協力が得られている。
- ・ 学校応援団の高齢化及び後継者不足が課題である。

### (7) 災害時等の対応について

- ・ 避難経路の確認、児童引渡、訓練、市内一斉消防・不審者対応避難訓練を実施し、児童の災害等に対する意識を高める指導が行われていた。

### (8) 予算執行状況について

- ・ 配当された予算については、計画的に執行されている。

### (9) 令和8年度の運動会開催日時について

- ・ 5月23日(土)実施予定

## 昭和中学校

### (1) 学校概要等

- ・生徒数は、R 8年1月1日現在594人（学級数15学級+特別支援学級数6学級）となっている。

### (2) 長期欠席及びいじめ認知件数について（2学期末の状況）

- ・長期欠席者は60人。教育相談部会を核として、長期欠席の生徒の状況の把握と対策を行っている。
- ・いじめ認知件数は4件となっている。生徒に対して毎月、生活アンケートを実施し、生徒の些細な変化についても見逃さないようにしている。

### (3) GIGAスクールの運用状況について

- ・1人1台のタブレットの整備は、教職員にとっても、確実に仕事の効率化・時間短縮につながっており、授業に際しては、なくてはならないものとなりつつある。

### (4) 学力の向上対策等について

- ・県学調の結果を分析し、校内研修の中で、今後の授業をどのように実施していくのかについて、各教科で話し合う場を設けている。
- ・学力向上を目指し、長期休業明けに「昭和中コンテスト」といったテストを5教科で実施している。

### (5) 外国籍の児童・生徒への支援について

- ・外国籍の生徒15人（国籍：ペルー4人、パキスタン1人、ベトナム1人、インドネシア1人、韓国1人、中国1人、フィリピン2人、バングラデシュ1人、マレーシア1人、ブラジル2人）のうち、日本語指導が必要な生徒が4人おり、週1時間程度の指導を行っている。

### (6) 地域との連携について

- ・学校運営協議会を年3回実施。【5月、11月、2月】

### (7) 災害時等の対応について

- ・避難訓練を年間3回実施。
- ・毎年6月の職員会議で、熱中症に係る部活動の対応について、確認を行っている。
- ・毎年7月に救命救急講習を実施。

### (8) 予算執行状況について

- ・配当予算については、計画的に執行されている。

(9) 令和8年度の体育祭開催日時について

- ・ 5月30日(土)実施予定。

(10) その他

- ・ 校舎の増築等に伴い、自転車置き場が不足している。

**北川辺中学校**

(1) 学校概要等

- ・ 生徒数は、R8年1月1日現在207人（学級数6学級+特別支援学級数2学級）となっている。

(2) 長期欠席及びいじめ認知件数について（2学期末の状況）

- ・ 長期欠席者は13人。個別対応を必要とする家庭が多く、放課後の面談や家庭訪問を丁寧に行い、長期欠席の未然防止や改善などを図っている。
- ・ いじめ認知件数は0件である。

(3) GIGAスクールの運用状況について

- ・ ICTが効果的な場面を選んで、積極的に活用している。

(4) 学力の向上対策等について

- ・ 全教職員が、授業改善に向けて研究した結果、主体的かつ対話的で深い学びの実現に向け、取り組んでいる。また、教科や学年の枠を超えた研究グループで、授業の相互参観を行った。

(5) 外国籍の児童・生徒への支援について

- ・ 外国籍の生徒4人(国籍：中国2人、フィリピン2人)は、日本語を話すこと、書くことも不自由なく、他の生徒と同様な学校生活を送っている。

(6) 地域との連携について

- ・ 学校運営協議会は、5月と11月の2回実施した。学校応援団については、あまり活動ができなかった。

(7) 災害時等の対応について

- ・ 地震や火災の避難訓練を学期の初めに設定し、確認をした。
- ・ 定期的、また臨時的に、防災についての指導を行っている。特に、水害への関心が高く、防災や減災の確認をしている。

(8) 予算執行状況について

- ・ 配当予算については、計画的に執行されている。

(9) 令和8年度の体育祭開催日時について

- ・ 6月13日(土)実施予定。